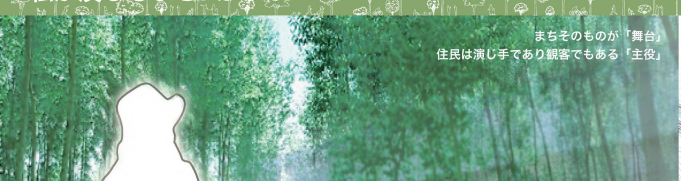
私が演じるまち“かすかべ”



日光街道の宿場町である相模湖、人々が通りに留まることで通りに特徴を持ち、この通りを中心にまちは賑わい、成長してきた。

時は流れ、春日部駅が誕生し、交通手段が多くこから鉄道中心都市へと変化した。春日部市は駅中道路を中心に繁栄され、まもの中心は駅に移り、経済的に大きな発展をとげたが、交通手段の変化により、ここを訪れる人の留まるまちではなく、通過のまちとなった。また、通りの主役が人ではなく、鉄道や自動車になったことにより、いつからか通りと住民の関わりも薄れてしまった。住民との関わりが薄くなった通りもまた、魅力を失ってまい、通りは通過点としての道路さえもなくなった。

しかし春日部市には、今も多くの歴史的なポテンシャルを持った通りが存在し、この特徴をもった通りこそが春日部の結束であるといえる。かつて多くの商人で賑わい、まもなど成長を促した通りのポテンシャルを活かし、かすかべに暮らす人たちが足を止め、そこに留まるまち、そして不断ないにより成長するまちを目指す。

人が留まるまちとなるため、現在のまもの中心である駅を起点として、通りのポテンシャルは活かしつつ、まちを全体を つなげる整備とその心くみを提案する。
まちづくり会社
商業開発事業プログラム
デザインコードの策定
春日部駅
駅前・東口
駅前・西口
新しいアリーナ
スイッチステーション
かすかべ BOX
駅前広場
かすかべ BOX 前面
商店街
沿道商店
沿道商店
沿道商店
商店
沿道商店
沿道商店
沿道商店
商店
沿道商店
沿道商店
沿道商店
商店

森と、人と、まちは共に成長する

■かすがべ駅

駅の高架化と駅前連続の沿道商店が、まちは1つの大きな舞台として機能する。駅前空間は、必要なモビリティを確保すると同時に住民の様々な活動の受け皿となる為、住民が安心して居られるとが出来る舞台整備が必要となる。

■駅ロータリー
■駅前ロータリーは、駅の出入口の通り沿いに、駅前広場の設置によりスペースを有効に使った駅の顔づくり整備する。
■かすがべ駅
■高架下の空間を活用し、人が集まる場所を作り出す。
■高架下の空間を活用し、人が集まる場所を作り出す。
■高架下の空間を活用し、人が集まる場所を作り出す。